

令和4年3月10日

五戸町議会第22回定例会 一般質問通告一覧表

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1	一問 一答	尾形裕之	倉石温泉利活用事業者との契約締結における既存民間浴場経営者との協議について	町が五戸町社会福祉協議会に浴場を設置する際に、入浴料について、民間浴場経営者と協議し、合意に至っている。 今回、町の負担で倉石温泉を改修するのであるならば、再度、条件を提示して協議し、合意に至らなければならないのではないか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2	一 問 一 答	鈴木隆也	1. 森林環境譲与税の 用途及び町有林の 整備と管理につい て	<p>温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための森林整備等に 必要な地方財源を安定的に確保する観 点から、森林環境税が創設された。</p> <p>森林環境税は、令和6年度から国税と して1人年額1,000円を市町村が賦 課徴収することとされている。</p> <p>また、森林環境譲与税は令和元年度か ら交付税及び譲与税配付金特別会計に おける借入金を原資に、市町村や都道府 県に対して、私有林人工林面積、林業就 業者数及び人口による客観的な基準で 按（あん）分して譲与されている。</p> <p>そこで以下を伺う。</p> <p>(1) 当町に対するこれまでの年間の森 林環境譲与税額とその用途は。</p> <p>(2) 森林環境譲与税を活用し、計画的な 町有林の整備と管理を行い、町有林の 付加価値を高めることができると考 える。</p> <p>例えば、どのような林齢の樹種がど こにどれだけあるかデータベース化 した上で、適切な枝打ちや間伐など による品質確保や、そうして生産され た高品質の五戸産材を各方面へPRす ることができると考えられる。</p> <p>今後の森林環境譲与税の用途をど のようにお考えか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 五戸総合病院の経営改善について	<p>五戸総合病院は、地域に根ざした重要な医療施設であることは今更言うまでもないが、毎年、多額の一般会計からの繰入金で充当され、五戸町の財政を厳しくしている一因であると思う。</p> <p>近年では、平成30年度の基準内繰入金6億8,800万円余り、基準外繰入金0円という比較的少ない年があったものの、直近の令和2年度では新型コロナウイルス感染症拡大による診療控えや、看護師の不足による病床数の削減なども影響し、基準内繰入金7億1,200万円余り、基準外繰入金3億7,500万円で、合計10億8,700万円余りに上っている。</p> <p>そこで以下を伺う。</p> <p>(1) 令和元年9月、厚生労働省が五戸総合病院を含めた県内10の公立病院について、診療実績が少ないなどを理由に、再編や統合などの議論が必要だとして病院名を公表した。</p> <p>報道では、「青森県が設けた医療機関や自治体などをつくる地域医療構想調整会議で、対象となる病院の統合や再編について議論が進められ、令和2年9月末までに結論が出される見通し」と報じられたが現状は。</p> <p>(2) 青森県野辺地町に所在する公立野辺地病院が、外部の識者を経営面のトップである「病院事業管理者」に就け経営改善を進め、初年度である令和2年度に4年ぶりの黒字になったことは驚くべき出来事であった。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
				<p>また、先般の報道では、十和田市立中央病院でも第三者の目線を取り入れ、経営改善を図る取組が進められているとのことである。</p> <p>五戸総合病院においても、これらの取組から学び、第三者の目線を取り入れた経営改善を進めるべきと思うがいかがか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3	一 問 一 答	豊 田 孝 夫	1. 各種行政手続の簡素化について	<p>先般の議員全員協議会において、転出・転入手続のワンストップ化の説明がなされたが、更に進めて窓口での各種申請の「書かない窓口」化を目指してはいかがか。このことにより、高齢者が住みやすい環境整備にもつながることと思う。本人確認をしっかりと行うことにより可能だと考える。ついては以下の項目についてお答え願いたい。</p> <p>(1) マイナンバーカードの交付申請は、平成28年から始まったが、これまでの当町における普及率は何%か。また、年齢別での普及率はいかがか。</p> <p>(2) 本人確認の手段として、また、各種手続のデジタル化においてもマイナンバーカードで行うことが効果的だが、窓口のデジタル化についてはいかにお考えか。</p> <p>(3) 高齢者が窓口で各種申請を行うとき、何が障壁になるかといえば、各種申請書類の記入に手間取ることが挙げられるが、これらの障壁を取り除くべく、口頭によって窓口担当者に伝え、申請書類を受領する方式を取り入れてはいかがか。</p> <p>(4) 口頭による窓口申請手続を取り入れている自治体があるが、実施済みの自治体を参考にする考えはあるか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 令和4年度の水田農業の動向について	<p>昨年の米価下落に伴い、生産者の意欲が減退し、作付けの減少が懸念されるが、令和4年度の水田農業に係る営農計画と、今後予測される事項について以下の項目についてお答え願いたい。</p> <p>(1) 令和4年度の当町における生産数量目標はいかがか。また、令和2年度及び令和3年度と比較して、数量の変化はいかがであったか。</p> <p>(2) 作付けされない水田は荒廃化が進むが、その面積について増減はいかがか。また、令和2年度及び令和3年度と比較して増減はいかがであったか。</p> <p>(3) 稲作に取り組む農家の動向についてはいかがか。また、稲作農家の増減は直近5年間で比較していかがか。</p> <p>(4) 国などの情報によると、令和4年度から、水田活用の直接支払交付金が見直されるとのことであるが、どのような変更があるのか。また、それによって懸念される事情が発生すると思うが、それについてはいかがか。</p>